

粗選別、破碎・選別プラント稼働開始間近



⑦分別された廃棄物はここから落ちてきて集積されます。



④振動篩機により10cm以上、3~10cm、3cm以下のものに分けられます。



①一次仮置き場から運搬されたがれきは、このトラックスケールでトラックごと計量された後、粗選別エリアに運ばれます。



⑧1号、2号が完成、計8基を建設する予定です。



⑤3~10cmのものは磁力選別機、ハンマークラッシャー、風力選別機等で分別されます。



②粗選別ヤードにて、木くずや有害物、思い出の品、墓石等が取り除かれます。



⑨建設中の土壌洗浄設備A



⑥10cm以上のものは手選別ラインで分別を行います。(写真の3F部分)



③粗選別された廃棄物はデンマーク製の高性能破砕機 (MJ6000) により30cm以下に破砕されます。

Aヤードでは、震災直後から搬入されていた災害廃棄物の撤去が3月末でほぼ完了し、中間処理施設の建設が急ピッチで進められています。中間処理施設は、廃棄物搬送設備、破碎・選別設備(8系列)、土壌洗浄設備(2系列)、土質改質設備(3系列)、コンクリート破碎設備等の各設備から構成されています。このうち廃棄物搬送設備と破碎・選別ラインを1ラインずつ、5月10日から稼働させる予定です。

Bヤードでは、各300トン/日処理できる焼却炉を計5基建設中ですが、いよいよ5月13日にロータリーキルン1号炉の火入式を行い、5月22日から焼却開始、残る4基についても建設工事後に順次稼働を開始し、8月には5基全てが完成する予定です。A・Bヤードを併せたこれらの施設は全設備が完成すれば国内のみならず世界にも例のない大規模廃棄物処理施設となります。

しかしながら、Aヤードの破碎選別設備は選別後の可燃物の場外焼却を前提とした能力(混合廃棄物8200t/日)で設計されているのに対し、当施設をフル稼働できるほどには広域処理の見通しが立っていないため、当面は場内における焼却能力(1500t/日)に見合った混合廃棄物の破碎選別処理を行うっていくこととなります。今後、受け入れ量の増加に合わせて本施設での処理量も増やしていく予定となっています。

はたらく機械シリーズ ④

モーターグレーダー



場内舗装・道路工事等での路床・路盤の整地や除雪作業などに使用され、精度の高い場に仕上げに適用されています。当現場にも計4台が導入され約25万㎡の路盤工が完了しています。

BDF (Bio Diesel Fuel) 導入



BDFとは生物由来油から作られるディーゼル用燃料の総称であり、バイオマスエネルギーの一つです。BDFを使用することでCO₂の削減に繋がります。当現場では連絡車の他に、発電機の燃料にもBDFの導入を検討しています。

海上運搬開始



海上運搬に使用する起重機船



北埠頭における安全祈願の様子

4月24日、離島(網地島・田代島)からのがれきの運搬を開始しました。網地・田代島とも、面積が少ない上に民有地を一次仮置き場にしていることから、先行して運搬を行うものです。この他、北上・雄勝、牡鹿半島エリアからの運搬にも船舶による海上輸送を予定しており、陸上運搬を行った場合に比べ渋滞を回避できる他、道路沿道に与える環境負荷(騒音・振動・CO₂発生)の抑制効果も期待されます。

—5月の予定—

- 5/7 安全大会
- 5/10 破碎選別プラント稼働開始
- 5/13 火入式
- 技術助言委員会
- 5/15 JV構成会社社社パトロール
- 復興推進委員会
- 5/22 焼却開始
- 5/24 鹿島本社パトロール
- 5/31 暴排・災害防止協議会

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

JV職員紹介

①千葉県
②ダム工事9年16年
宅造工事1年
③ゴルフ・ドライブ・温泉
④復興に向かっている姿や進んでいく姿をこの目で見ながら実際に従事できることを誇りに思っています。今後もこの気持ちが褪せることがないよう、頑張ります。



工事担当 寺島匠吾

①岩手県
②トンネル10年
(高速道路2年・新幹線4年・アルジェリア高速道路4年)・浄化センター12年
③子供達と行く映画鑑賞と、キャンプ
④石巻の早期復興が可能となるよう、粉骨砕身の覚悟で瓦礫処理に挑みます。



工事課長 土岐浩之

①東京都大田区
②滋賀県湖南市上目黒
赤坂コンバクトシールド
シールドマシンの設計・製作
③温泉、山歩き(ハイキング)・ウォーキング、スキー、どこでもすぐ寝れる。
④日本で初めて、いや、世界でもたぶん一番の大規模ごみ処理施設をフル稼働させ、東北の災害廃棄物を二日でも早くなくしたい。



次長 加藤 誠